

☆令和6年度 寺子屋アンケート（保護者向け）結果を公表します

【1】校名 【2】目標（豊かな人間関係づくりと基礎学力の向上）の達成度 【3】寺子屋に通うお子様の様子（児童数） 【4】参加費の金額について														
【1】校名		五 泉	五泉南	五泉東	川 東	巢 本	橋 田	大蒲原	村 松	愛 宕	合計	R6 回答率	R5 回答率	増減
調査数（児童数）		17	59	40	19	23	32	47	30	29	296	75.0%	82.4%	-7.4%
回答数（児童数）		14	37	25	19	14	22	33	29	29	222			
【2】 目 標	達成されている	3	15	7	8	9	5	24	15	12	98	44.1%	33.2%	10.9%
	おおむね達成されている	11	21	16	10	5	15	9	14	16	117	52.7%	59.4%	-6.7%
	達成されていない	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0.9%	0.5%	0.4%
	分からない	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	1.4%	7.4%	-6.0%
【3】 （児 童 数）様 子	喜んで通っていた	10	18	20	9	10	6	29	12	18	132	59.5%	57.3%	2.2%
	おおむね喜んで通っていた	4	14	5	7	4	11	4	15	8	72	32.4%	34.3%	-1.9%
	いやいや通っていた	0	5	0	1	0	3	0	2	2	13	5.9%	4.8%	1.1%
	分からない	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	1.4%	0.8%	0.6%
【4】 参 加 費	高い	0	1	0	2	0	1	3	0	0	7	3.2%	0.5%	2.7%
	ちょうどよい	13	34	18	13	13	19	29	23	24	186	83.8%	84.7%	-0.9%
	安い	1	2	7	3	1	1	1	6	5	27	12.2%	13.9%	-1.7%

☆寺子屋に対し要望の多かったものについてご回答いたします

【お迎えについて】 ・お迎え時間が18時だと少しきついと感じることがあります。もう少し遅い時間だとありがたい。	【回答】 寺子屋の時間は「原則18時までにお迎え」をお願いしているところです。ただし、やむを得ず間に合わない場合は生涯学習課までご連絡ください。
【欠席連絡について】 ・電話が手間なので、アプリなどにしていただけると仕事の合間や時間関係なくできるかなと思う。 ・欠席連絡をすぐ一着のようにしてほしい。 ・休みたい月は、返金などの対応で休めるようにしてほしい。	【回答】 連絡用に新しいシステムを導入することは難しいですが、欠席連絡については「電話」の他にも「メール対応（終日連絡が可能）」を行っておりますので、そちらもご利用いただければと思います。 また、月単位で欠席を予定する際は、該当月分の返金も可能ですので、都度ご相談ください。 メールアドレス : s-gakusyuu@city.gosen.lg.jp
【おやつについて】 ・学童のようにおやつの時間があると良い。 ・体制が整ったら、おやつを復活させてほしい。 ・長い時間預かっていただく場合もあるので、おやつの提供を考えていただけるとありがたい。 ・参加費が高くなっても良いので、高学年でも楽しめるようにおやつを配って欲しい（子どもの意見）。希望は「学習→おやつ→静かな遊び→体育館での遊び」だそうです。	【回答】 おやつの提供につきましては、現在「個々のアレルギーへの対応が難しいこと」と「高学年の学習時間の確保」から実施をしておりますが、下校時刻が早まり、放課後の時間が長くなっている現状もある事から、教室指導者と相談しながら実施が可能かどうか、今後検討してまいりたいと思います。
【学習について】 ・勉強時間をもう少し増やしてほしい。 ・硬筆の他にもそろばんの手習い等を希望します。 ・英語を教える場を作ってもらいたい。 ・硬筆の時間をもう少し増やしてほしい。 ・遊びも大事だが、自学をする大切さを教えてほしい。 ・宿題をしなくて帰ってくることもあるので、せめて宿題くらいはやらせてほしい。 ・出来る限り寺子屋内で宿題を終わらせるよう指導していただけるとありがたい。 ・児童の元気があり過ぎて、静かに集中して勉強しづらいそうです。	【回答】 学習時間につきましては、学年が上がるほど、自ら目標をもって勉強できるようになると考えていますが、特に低学年や勉強の苦手な子どもは集中力が続かず、無理を押し付けたり急かしたりすることで、余計に頑張ろうという気持ちが萎えてしまったり、勉強を嫌いになってしまう場合も決して少なくありません。 寺子屋としては、学習時間の中で子どもたちに宿題や自学を中心に進めるよう促しながら「出来たことを褒め」、「出来なかったとしても叱ることなく」年間を通じた長い目で、目的の一つである自学自習の習慣付けによる子どもたちの成長を見守ってまいりたいと考えていますので、どうぞご理解をお願いいたします。 また、硬筆等の普段とは違う学習体験につきましては、講師の有無や道具の問題もあるため、検討させていただきます。

【実施日について】 ・日数を増やしてもらえるとありがたい。 ・3月～4月もお願いしたい。 ・毎日開催してほしい。 ・夏休みも実施してもらえるとありがたい。 ・学校ごとに曜日が異なるのかもしれないが、水曜日（小1の下校時刻が早い）にしていただけるとありがたい。	【回答】 昨年と同様の回答で大変恐縮ではございますが、現在の実施体制では、毎日の実施については、非常に厳しい部分がございますことをご了承ください。また、毎年夏休み期間中には総合会館及び村松公民館において「夏休み自由学習教室（7日間ずつ計14日間・午前中のみ）」を実施しております。寺子屋とは少し趣旨が違い、「“自主的に”勉強をしたい子が指導者（大学生サポーター等）に、分からない部分を質問しながら通う」教室となっております。こちらもぜひご利用ください。 なお、実施曜日の変更につきましては、保護者の皆様からの希望が多く寄せられれば、指導員と相談のうえ検討してまいりますので、お迎えの時間やアンケート等により、お声をお寄せください。
【児童への指導について】 ・怒った声で脅していて怖いです。「楽しい場所、たくさん友だちと遊べる時間」だと思っていたのに、子どもも親もがっかりです。 ・子ども同士のいざこざも多く、間に入っていただけると助かります。帰ってきてから話が出てくることも多くあり、先生にちゃんとお話ししなさいと子どもに伝えました。 ・子ども同士でトラブルがあった時に、一方的ではなく双方の話をちゃんと聞いて、子どもたちで解決できるように導いていただきたいです。 ・現場を抜き打ちで見て、指導をしっかりとってください。 ・子どもたちに掛ける言葉のチョイスがおかしく、どうなんだろうと思う。 ・経験豊富な方々に指導していただいているが、若い方にも指導していただきたい。（ご高齢の方が多く、子どもの体力についていけるかが心配）	【回答】 子どもたちへの問題対応や苦情等について、令和6年度中もいくつかご指摘をいただきました。その都度、教室代表者や該当指導者にお話をさせていただいております。 子どもたちとの接し方や向き合い方については、「子どもを育てる」のではなく、「子どもが育つ・成長を支える」指導を日ごろから心掛けるよう、個々の場面や指導者研修会、教室代表者会議などを通じて、継続した指導を行ってまいります。ただし、集団活動の中で「約束や決まりを守らない」「物を投げる」「人としてしてはいけない」ことなどが見られるような場面では、優しさを含んだ毅然とした対応をとることもあることにつきまして、ご理解を頂けたらと思います。 指導者の高齢化につきましては、現在進行形の課題となっています。令和7年度は、大学との連携を通じて学生の協力者を募る予定としておりますが、なお、皆様の周りにも協力をお願いできる方にお心当たりがあれば、是非ともご協力をお願いできると非常に助かります。その際は生涯学習課までご連絡ください。 寺子屋では引き続き、 ◆自学自習の習慣づけによる基礎学力の向上 ◆自他を大切にしよう人間関係の醸成を図り、安全・安心で心健やかに育まれる居場所の提供 この二つの目的を忘れることなく、子どもたちが「伸び伸びと育つ」教室となるよう、職員・指導者一体となって事業を実施してまいります。